

科目名 (科目番号)	スポーツ社会学 (時間割参照)	教員名	向後和典	学科等	理学療法	選択	履修年次	1
				曜日・時限等	時間割表参照		単位数	1
				授業形態	講義	オフィスアワー	月(昼休) A311研究室	
授業概要	スポーツの現状とスポーツ現場で起こっている諸現象について、社会学的立場から分析する。また、スポーツ場面で生じる法的問題に対して問題意識および解決に向けた視点を持つことができるように学習する。							
目的・目標	スポーツに関する諸現象を社会学的視点で分析、理解、説明できる。 スポーツ場面で生じる法的問題に対して問題意識および解決に向けた視点を持つことができる							
準備学習	毎回の授業について少なくとも1時間程度の予習・復習をすること。							
授業計画	回	授業項目	到達目標・学習内容					
	1	スポーツの意義と価値	到達目標:スポーツの意義と価値について学び、今後のスポーツ推進のあり方について考察する。 学習内容:社会の中におけるスポーツの価値、スポーツプロモーションについて学ぶ。					
	2	スポーツの意義と価値	到達目標:スポーツの意義と価値について学び、今後のスポーツ推進のあり方について考察する。 学習内容:スポーツの文化的特性、スポーツマンシップとフェアプレー、オリンピズムの根本原則について学ぶ。					
	3	スポーツの価値を守るスポーツ権	到達目標:スポーツ権の内容を学び、スポーツ権が守るスポーツの価値を理解する。 学習内容:基本的人権としてのスポーツ権の内容、スポーツ権を意識したスポーツ指導について学ぶ。					
	4	スポーツの自治ーガバナンスとコンプライアンスー	到達目標:スポーツの自治の適正化のためにグッド・ガバナンスの確立とコンプライアンスの徹底が重要であることを理解する。 学習内容:グッド・ガバナンスの構築、コンプライアンスの徹底とコンプライアンス違反について学ぶ。					
	5	スポーツ事故におけるスポーツ指導者の法的責任	到達目標:スポーツ事故に関して、スポーツ指導者が負う法的責任と注意義務について理解する。 学習内容:具体的な事故事例からスポーツ指導者の法的責任、注意義務について学ぶ。					
	6	スポーツ事故におけるスポーツ指導者の法的責任	到達目標:スポーツ事故のリスクを考え、安心できるスポーツ環境構築の視点を持つことが出来る。 学習内容:事故予防、危機管理のための安全配慮義務やリスクマネジメントについて学ぶ。					
	7	スポーツ仲裁	到達目標:スポーツに関する紛争解決の方法を理解する。 学習内容:スポーツ仲裁やスポーツ仲裁を行う機関について学ぶ。					
	8	スポーツ倫理	到達目標:スポーツの価値を体現すべきスポーツ指導者として必要なことを理解する。 学習内容:様々な事案から、フェアプレーの精神について学ぶ。					
成績評価の方法・基準	授業内課題 (100%) ※対面・オンライン共通							
教科書	リファレンスブック よくわかるスポーツ文化論[改訂版] はじめて学ぶスポーツと法		公益財団法人 日本スポーツ協会 井上 俊(編集), 菊 幸一(編集) 新井 喜代加・武田 丈太郎 編		公益財団法人 日本スポーツ協会 ミネルヴァ書房 株式会社 みらい			
参考図書								
教員からのメッセージ	授業内でグループディスカッションが行われることもあります、自分の考えをまとめて発表するには、それまでの授業内容を理解しておくことが大切です。 この授業は公認スポーツ指導者養成講習会共通科目になります。 オンライン授業に伴い授業計画に変更がある場合は、オンラインクラスで変更のシラバスを周知します。 「スポーツマネジメント論」と併せて受講することが望ましい。							